

学校配置の見直しについて (平成 26 年 3 月 生野区役所)

<概要版>

生野区における小学校及び中学校の教育環境が抱える大きな課題を解消するために学校配置の見直しを進めます。その際、区内 28 校の市立小・中学校すべての見直しを一体的に進める事は非常に困難を伴うことや保護者をはじめ地域住民のみなさんと丁寧に意見交換を重ねる必要があることから、区内を「4つのブロック」に分けて取組を進めていくこととします。

検討の基本となる4つのブロック

検討にあたっては、現在の校区や通学の安全性、地域的なつながりなどに配慮して勝山通と今里筋を中心として区内を4つに分割し、ブロック単位で取組を進めていきます。

【西側エリア】

A ブロック

(小学校 5 校)

北鶴橋・御幸森・鶴橋・

東桃谷・勝山

(中学校 2 校)

勝山・鶴橋

【西側エリア】

B ブロック

(小学校 6 校)

林寺・生野・田島・舍利寺・

生野南・西生野

(中学校 2 校)

生野・田島

【東側エリア】

C ブロック

(小学校 4 校)

中川・東中川・小路・

東小路

(中学校 2 校)

大池・東生野

【東側エリア】

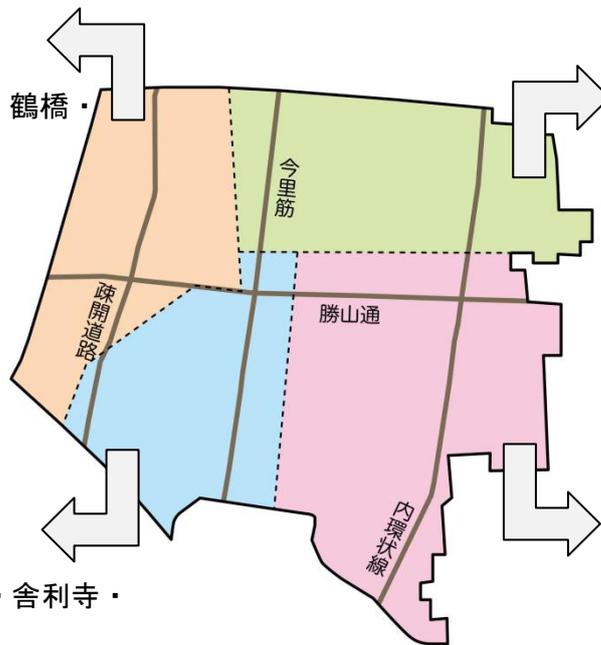
D ブロック

(小学校 4 校)

巽・北巽・巽南・巽東

(中学校 3 校)

巽・新生野・新巽



※ このブロックは新たな学校配置や校区割りを検討するためのものであり、当該ブロックが新たな校区となることを定めているものではありません。新たな校区を指定するまでは、現在の校区が適用されます。

取組内容

ブロックごとに、適正な規模の学校がバランスよく配置されるよう、以下の教育環境となることをめざして検討していきます。

小学校

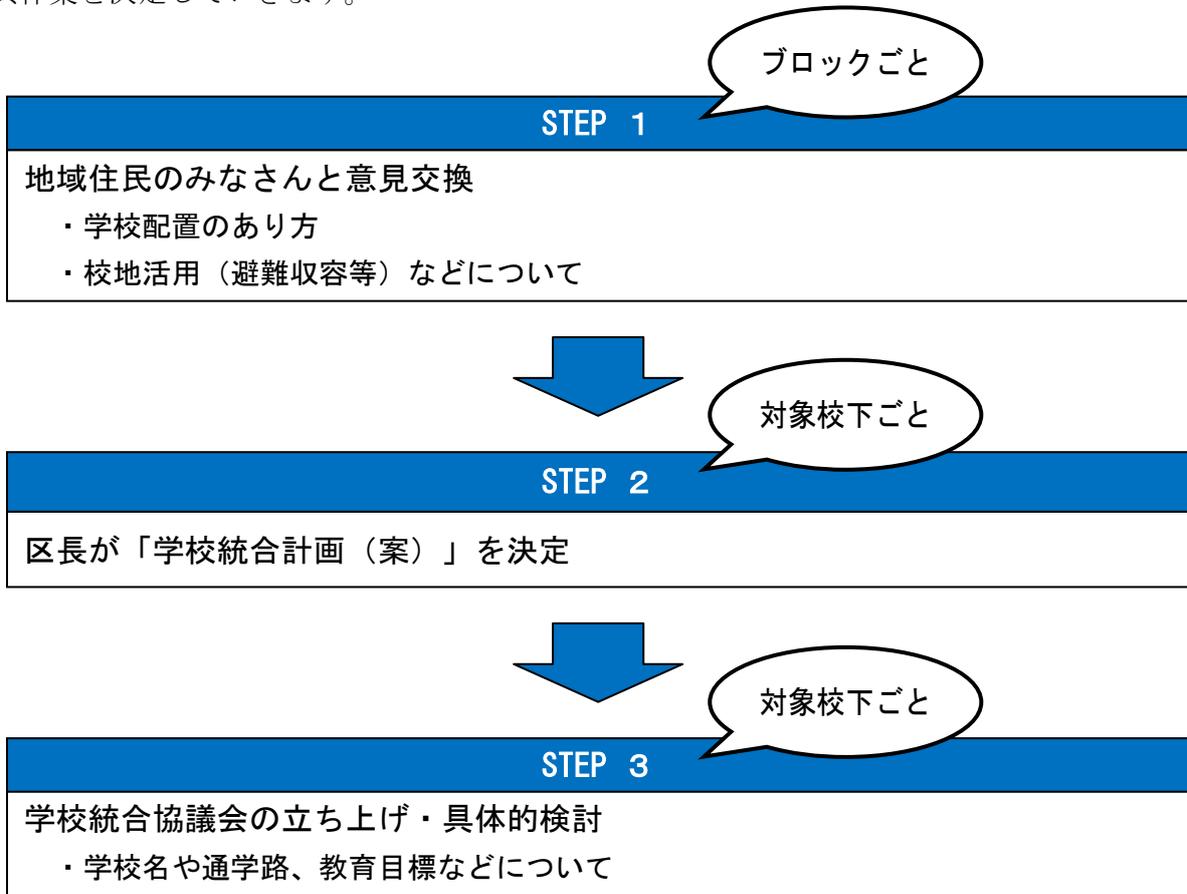
クラス替えが可能な学年2学級以上（学校あたり12学級以上）

中学校

学校あたり原則2つ以上の小学校から進学

具体的な取組の流れ

学校配置の見直しにあたっては、今後、保護者をはじめ地域住民のみなさんと丁寧な話し合いを重ね、具体案を決定していきます。



西側エリアは平成26年度から平成29年度までの4か年、東側エリアは平成30年度から平成33年度までの4か年での見直しを目標に、ブロックごとに取組を進めていきます。